

ニューズレター No.99

発行人 寺田 貢

2017(平成 29)年 8 月 31 日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.99 をお届けいたします。今回は、

- (1)第 13 回全国大会開催報告
 - (2)2017(平成 29)年度第 1 回理事会開催報告
 - (3)2017(平成 29)年度定時総会開催報告
 - (4)2017(平成 29)年度第 2 回理事会開催報告
- についてお知らせいたします。



現地企画の様子

第 13 回全国大会開催報告

第 13 回全国大会は、2017 年 8 月 21 日～23 日の会期で日本文理大学において開催されました。この場を借りて、素晴らしいキャンパスを会場としてご提供くださった日本文理大学様に深く御礼申し上げます。

大会テーマを「高大接続システム改革はリメディアル教育を変えるか？」とし、大会 2 日目に、創価大学の関田 一彦先生による基調講演「協同教育の視座からのリメディアル教育への願い」、関田先生に指定討論者としてお迎えし、大分県立大分豊府高等学校の佐藤 茂先生、大分県立爽風館高等学校の太田 恭二先生、大分県立日田高等学校の賀来 宏基先生にご登壇いただき、大会の実行委員長でもある日本文理大学の吉村 充功先生によりコーディネータとして加わっていただいた現地企画「高大接続システム改革への現場の取り組みからリメディアル教育を考える」が実施されました。

また、専門部会による企画として、理数系部会、日本語部会、英語部会 2 件、学習支援部会および理事会企画の合計 6 件のラウンドテーブルやワークショップが行われました。全国大会の大きな柱である一般発表には、多くの会員から応募をいただき、審査の結果、48 件の口頭発表と 15 件のポスター発表がありました。

全国の大学等からの 215 名に会場校の教職員 110 名以上が加わり、合計 300 名を超える参加者を迎え、各会場で熱心な討論が交わされました。

大会前日の 8 月 20 日には、プレカンファレンスが日本文理大学湯布院研修所で行われ、実行委員会鈴木副委員長のお世話による研修で、ワールドカフェ形式で各大学での課題や学会に望むことを議論しました。

今回の全国大会から設けられた大会発表優秀賞は、厳正な審査の結果、以下の方々が受賞されました。

- 1)秋山英治(愛媛大学)「情報教育における高大接続の試み」
共著者: 仲道雅輝(愛媛大学), 都築和宏(愛媛大学), 光宗宏司(愛媛大学附属高等学校), 三好徹明(愛媛大学附属高等学校)
- 2)鈴木政浩(西武文理大学)「学習方略定着を重視したシラバスとポートフォリオを統合した英語授業の一事例」
- 3)田島ますみ(中央学院大学)「日本語学術共通語彙知識の発達」
共著者: 佐藤尚子(千葉大学), 松下達彦(東京大学), 笹尾洋介(京都大学), 橋本美香(川崎医科大学)
- 4)望月肇(大阪産業大学)「新国際学部初年次学生に対する実践的な異文化理解教育と英語教育の実践」
- 5)望月好恵(国際武道大学)「体育系学部の英語授業で必要な指導の方向性について」
共著者: 鈴木政浩(西武文理大学), 壁谷一広(大阪体育大学), 大和久吏恵(日本女子体育大学)

最後に、本大会の開催にご協力くださいました多くの方々に御礼申し上げます。

2017(平成 29)年度第 1 回理事会開催報告

8 月 21 日に 2017(平成 29)年度第 1 回理事会が、日本文理大学 18 号館 4 階 18A42 室で開催されました。

理事会では、学会の運営状況に関する事項について審議・報告が行われました。議事の概要を以下に示します。

【審議事項】

1. 会長・業務執行理事の業務報告

会長、全国大会企画委員長、編集委員長から前回の理事会以降の業務について報告がありました。

2. 2016年度決算(案)、2017年度予算(案)

会長から、決算と予算について報告され、審議の結果、別紙のように一部修正を行うことで承認されました。

3. 2016年度事業報告(案)、2017年度事業計画(案)

会長から、事業報告と事業計画について報告され、審議の結果承認されました。

4. 全国大会企画委員会

小松川全国大会企画委員長から、委員会の活動について説明され、来年度の全国大会の会場校が、創価大学に決まったことが報告されました。

5. 会誌編集委員会

長尾編集委員長から、会誌の発行と委員会の活動について説明されました。

6. 役員候補者選出選挙の結果

会長から、役員候補者選出選挙の結果について説明されました。

7. 2017(平成29)年度定期総会次第案(案)

会長から定期総会の次第案が提案され、審議の結果、8月22日の総会での次第とすることとしました。

8. 研究活性化支援制度の手続き

会長から前回の理事会で決議された活性化支援制度の実施手続きについて概要が説明されました。

9. 支部長・部会長会議

会長から前回の理事会で決議された支部長・部会長会議について、会議のあり方について紹介され、今後の実施方法について議論されました。

10. 学習支援部会からの提案

学習支援部会の石毛部会長から、全国の大学における学習支援の実態を調査することについての提案がありました。審議の結果、継続審議することとされました。

11. 次期理事会への申し送り事項

会長から次期理事会への申し送り事項が紹介されました。審議の結果、一部修正することとしました。

12. その他

【報告事項】

1. 支部大会開催報告

3月に開催された中国・四国支部会第5回支部大会について報告されました。

2. 支部大会・部会開催予定

英語部会による「Content and Language Integrated Learning: Hard CLIL in Action」の開催計画について報告されました。

3. 会員動静

会長から、5月17日現在の会員数として、正会員643人、大学会員28校、賛助会員31社であることが報告されました。

4. その他

関東甲信支部大会が2月9日(金)(高崎経済大学)、東北支部大会3月1日(岩手県立大学)で開催される予定であることが報告されました。

2017(平成29)年度定時総会開催報告

定時総会は、8月22日に開催され、以下の点について、それぞれ報告または審議が行われました。

【報告事項】

1. 2016(平成28)年度事業報告

資料に従い、2016年度の事業について報告されました。

2. 全国大会「大会発表優秀賞」の新設

第13回全国大会から「大会発表優秀賞」を設け、優れた研究成果の発表を表彰することについて報告されました。

3. 研究活性化支援制度の実施

本学会の研究活動を活性化するため、会員の申請により、支援金を支給する制度について報告されました。

4. 医療系部会の設置

本学会11個目の専門部会として、医療系部会が新設されたことが報告されました。

5. 佐賀大学クリエイティブ・ラーニングセンターの外部協力機関

本学会が佐賀大学クリエイティブ・ラーニングセンターの外部協力機関として参加することについて報告されました。

6. 役員候補者選出選挙結果

役員候補者選出選挙の結果について、候補者全員が信任されたことが報告されました。

【審議事項】

1. 役員の選任

資料に従い、信任された役員候補者について説明され、総会出席者により承認されました。

2. 2016(平成 28)年度決算

資料に従い、2016 年度の決算について説明され、総会出席者により承認されました。

3. 2017(平成 29)年度事業計画・収支予算

資料に従い、2017 年度の事業計画と予算について説明され、総会出席者により承認されました。

2017(平成 29)年度第 2 回理事会開催報告

8 月 22 日に 2017(平成 29)年度第 2 回理事会が、日本文理大学 18 号館 4 階 18A42 室で開催されました。

【審議事項】

1. 会長の選出

理事による選挙が行われ、谷川 裕稔会員が会長に選出されました。開票にあたり、2 名の監事が立ち合い人を務めました。

会長の交代について

2013 年から 4 年間会長を務めさせていただきましたが、このほど新会長にバトンタッチすることができました。特にニューズレターについては、事務局長時代の 2009 年の No.23 から今号の No.99 まで担当させていただきました(寺田の在外研究中の No.58 と No.59 は竹内 芳衛先生, No.60 は米満 潔先生がご執筆)。今後も、学会活動の記録と発信のため、ニューズレターをお役立てください。

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

【文責】寺田 貢

【編集】大野 早苗

日本リメディアル教育学会 2016（平成28）年度事業報告書 （2016年4月1日～2017年3月31日）

I. 事業活動

1. 学術集会等の開催（会則第3条第1号、第4号）

(1) 第12回全国大会

2016年8月23日～25日、大阪国際大学において開催した。（参加者262名）

(2) 第1回東北支部会 支部大会

2016年12月3日に桜の聖母短期大学において開催した。

(2) 第9回関西支部会 支部大会

2016年12月11日に京都三大学教養教育研究・推進機構において開催した。

(3) 第5回関東・甲信支部会 支部大会

2017年2月11日に神田外語学院（3号館）において開催した。

(4) 第9回九州・沖縄支部会 支部大会

2017年3月4日に久留米工業大学において開催した。

(5) 第5回中国・四国支部会 支部大会

2017年3月25日に四国大学において開催した。

2. 学術雑誌等の発行又は公表（会則第3条第2号、第4号）

(1) 学会誌『リメディアル教育研究』

第11巻第1号（発行日2016年3月31日）と第11巻第2号（発行日2016年12月31日）を発行し、会員に発送した。

(2) ニューズレター

No.87～No.97を発行した。

3. 国内外の関連学術団体との連携及び協力（会則第3条第3号、第4号）

(1) The National Association for Developmental Education (NADE)との連携

酒井志延会員が、NADEのOfficial publicationである*Journal of Developmental Education*の編集委員を委嘱されている。

(2) NIIの電子図書館事業への参加

NII論文情報ナビゲータCiNiiによる会誌の電子ジャーナル化を進め、第1巻から第9巻第2号まで公開されている。

(3) J-Stageへの参加

CiNiiの運営終了に伴い、科学技術情報発信・流通総合システムJ-Stageによる会誌の電子ジャーナル化への移行作業を進めている。

(4) 教育学関連学会連絡協議会への参加

会長の寺田 貢が、学会を代表して総会・シンポジウム(2017年3月18日、学習院大学)に参加した。

4. その他本会の目的を達成するために必要な事業（会則第3条第5号）

(1) 全国大会企画委員会による全国大会運営

全国大会の開催に当たり、全国大会企画委員会が現地実行委員会と連携し、(株)国際文献社に大会ヘルプデスク業務を委託して、運営を行う体制で、第12回全国大会を開催した。

(2) (株)国際文献社との委託契約継続

事務局等の業務を、(株)国際文献社に委託した。

(3) (株)ミドリ印刷の編集業務委託

会誌編集の事務業務を、(株)ミドリ印刷に委託した。

(4) 会誌編集システムの導入・運用

会誌編集の投稿・査読のWeb化のため、投稿・査読システム ScholarOne Manuscriptsを導入し、2016年9月1日より運用開始した。

(5) 研究活性化支援制度の検討

会員からの研究計画の提案に対し、助成する制度を設置し予算化することを検討した。

(6) 表彰制度の検討

全国大会における優れた研究発表に対する表彰制度を設置について検討した。

II. 総会、理事会の開催状況

1. 総会

(1) 定時総会

2016年8月24日、大阪国際大学において開催した。

2. 理事会

(1) 理事会（2016(平成28)年度第1回）

2016年8月23日、大阪国際大学において開催した。

(2) 理事会（2016(平成28)年度第2回）

2017年3月14日、(株)国際文献社会議室において開催した。

III. 会員の状況

1. 2016年度の会員異動

	前期末会員数*	当期入会数	当期退会数	当期末会員数
正会員	640名	37名（うち復会1名）	53名	625名
大学会員	29団体	2団体	2団体	29団体
賛助会員	37団体	1団体	7団体	31団体

IV. 規程等

1. 会則の内規を改定した。

以上

予算対比正味財産増減計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

日本リメディアル教育学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	3,900,000	3,732,000	168,000
正会員会費	2,400,000	2,412,000	△ 12,000
当年度会費	2,400,000	2,336,000	64,000
過年度会費	0	76,000	△ 76,000
大学会員	300,000	300,000	0
当年度会費	300,000	290,000	10,000
過年度会費	0	10,000	△ 10,000
賛助会員	1,200,000	1,020,000	180,000
当年度会費	1,200,000	930,000	270,000
過年度会費	0	90,000	△ 90,000
事業収益	240,000	126,568	113,432
印税収益	200,000	105,568	94,432
学会誌収益	40,000	21,000	19,000
会員	20,000	19,000	1,000
非会員	20,000	2,000	18,000
全国大会収益	1,755,000	2,488,000	△ 733,000
参加収益	1,045,000	979,000	66,000
予稿集販売収益	20,000	11,000	9,000
賛助会員出展収益	540,000	528,000	12,000
広告収益	150,000	90,000	60,000
情報交換会	0	520,000	△ 520,000
その他	0	360,000	△ 360,000
支部大会収益	70,000	152,828	△ 82,828
余剰金収益	70,000	52,828	17,172
出展料収益	0	100,000	△ 100,000
雑収益	500	58	442
利息収益	500	58	442
経常収益計	5,965,500	6,499,454	△ 533,954
(2) 経常費用			
事業費	4,274,491	5,219,540	△ 945,049
全国大会運営費	1,297,771	1,923,765	△ 625,994
参加証兼領収書作成費	84,240	56,570	27,670
クレジット決済利用手数料	24,696	22,840	1,856
企業展示管理	32,400	32,400	0
ヘルプデスク	64,800	64,800	0
予稿集作成	395,750	391,226	4,524
講演費	100,000	110,188	△ 10,188
会場費	160,920	0	160,920
アルバイト費	250,000	195,500	54,500
振込手数料	1,712	2,592	△ 880
雑費	20,787	42,120	△ 21,333
印刷費	6,327	3,030	3,297
通信運搬費	47,539	19,370	28,169
会場利用料	108,600	103,680	4,920
会議費	0	119,449	△ 119,449
ランチョンセミナー	0	240,000	△ 240,000
情報交換会	0	520,000	△ 520,000
支部大会開催費	350,000	369,637	△ 19,637
委員会運営費	500,000	718,970	△ 218,970
専門部会運営費	500,000	100,232	399,768
事務局活動費	100,000	10,000	90,000
学会誌印刷費	1,526,720	2,096,936	△ 570,216
第11巻1号	693,360	804,022	△ 110,662
第11巻2号	693,360	817,714	△ 124,354
J-STAGE対応	120,000	475,200	△ 355,200
謝礼	20,000	0	20,000
管理費	2,418,120	2,717,475	△ 299,355
事務局委託費	1,131,408	1,256,835	△ 125,427
会員業務委託費	686,448	724,630	△ 38,182
発送関連業務委託費	0	8,621	△ 8,621
会計業務委託費	250,560	376,056	△ 125,496
学会ホームページ費	194,400	147,528	46,872
理事会会議費	300,000	449,874	△ 149,874
全国大会関係委託費	353,160	385,776	△ 32,616
事務委託基本料	108,000	108,000	0
発表参加申込システム	140,400	154,656	△ 14,256
大会ホームページ	64,800	64,800	0
チラシ作成	39,960	58,320	△ 18,360
会誌関係委託費	603,552	603,551	1
投稿システム利用料	279,552	279,551	1
投稿システム準備費用	324,000	324,000	0
雑費	30,000	20,058	9,942
通信費	0	1,381	△ 1,381
経常費用計	6,692,611	7,937,015	△ 1,244,404
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 727,111	△ 1,437,561	710,450
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 727,111	△ 1,437,561	710,450
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 727,111	△ 1,437,561	710,450
一般正味財産期首残高	7,811,935	6,524,818	1,287,117
一般正味財産期末残高	7,084,824	5,087,257	1,997,567
II 正味財産期末残高	7,084,824	5,087,257	1,997,567

財産目録

平成29年 3月31日現在

日本リメディアル教育学会

(単位:円)

貸借対照表科目		種別	詳細	金額
(流動資産)	現金預金	現金		18,730
			普通預金	5,546,870
		郵便振替口座	みずほ/会費用口座	2,544,873
			みずほ/寄付金口座	3,001,997
				1,423,901
	未収金	郵便振替口座	483,034	
大会企画委員会		940,867		
大会参加費クレジット		392,000		
流動資産合計				7,381,501
資産合計				7,381,501
(流動負債)	未払金 前受会費		大会委託費等	1,260,244
			2017年度以降会費	1,034,000
流動負債合計				2,294,244
負債合計				2,294,244
正味財産				5,087,257

本決算書の監査を実施した結果、適正であることを認めます。
平成29年7月21日

監事

村上裕美 

監事

廣田有里 

日本リメディアル教育学会 2017（平成 29）年度事業計画 （2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日）

I. 事業活動

1. 学術集会等の開催（会則第 3 条第 1 号、第 4 号）
 - (1) 第 13 回全国大会
2017 年 8 月 21 日～23 日、日本文理大学において開催する。
 - (2) 支部大会
各支部会の主催により必要に応じて開催する。
 - (3) 専門部会
各専門部会の主催により必要に応じて開催する。
2. 学術雑誌等の発行又は公表（会則第 3 条第 2 号、第 4 号）
 - (1) 会誌「リメディアル教育研究」
J-Stage における採録論文等の逐次公開と第 12 巻を発行する。
 - (2) ニュースレター
学会の動向について、会員に情報提供するため、必要に応じて発行する。
3. 国内外の関連学術団体との連携及び協力（会則第 3 条第 3 号、第 4 号）
 - (1) The National Association for Developmental Education (NADE) との連携
酒井志延会員が、NADE の編集委員会の委員に委嘱されている。
 - (2) 教育学関連学会連絡協議会への参加
4. その他本会の目的を達成するために必要な事業（会則第 3 条第 5 号）
 - (1) 他団体と協調した活動の推進
本学会と関連する分野を研究する学会など、他団体とのコラボレーションを推進する。
 - (2) 会誌の電子版公開の運用
査読により採録を決定した論文等の記事について J-Stage により電子ジャーナルとして逐次公開し、これらを収集した冊子版の会誌を年度末に発行する。
 - (3) 会誌編集システムの運用
導入済みの会誌投稿原稿の査読を支援するシステムを運用して会誌編集を実施する。
 - (4) 研究活性化支援制度の運用
会員からの研究計画の提案に対し、助成する制度を運用する。
 - (5) 表彰制度の実施
全国大会における優れた研究発表に対する表彰制度を実施する。
 - (6) 会員数減少への対応
2017 年度の会員数が継続して減少するおそれのある場合は対応策を検討する。
 - (7) 新役員による組織の構築
選挙により選出された新役員による委員会等の組織を早急に整備する。

以上

日本リメディアル教育学会 収支予算書

2017(平成29)年度
2017年4月1日～2018年3月31日

	予算		合計	備考
	数量	単価		
寄付金口座残高			3,001,997	2017年3月31日現在
前期繰越 (A)			2,085,260	2017年3月31日現在
I. 収入の部				
1. 会費収入				
正会員	600	4,000	2,400,000	
大学会員	30	10,000	300,000	
賛助会員	40	30,000	1,200,000	
(小計)			3,900,000	
2. 事業収入				
印税収入			200,000	
学会誌収入				
会員	20	1,000	20,000	
非会員	10	2,000	20,000	
(小計)			240,000	
3. 全国大会収入				申請予定の補助金収入200,000円については未算入
参加費			750,000	第13回全国大会予算(4,000*100+5,000*10+5,000*60)
賛助会員出展費	12	30,000	360,000	第13回全国大会予算
広告費	15	10,000	150,000	第13回全国大会予算
ランチョンセミナー費	4	60,000	240,000	第13回全国大会実績(セミナー費¥20,000-、弁当¥40,000-)
予稿集販売	10	2,000	20,000	第13回全国大会予算
(小計)			1,520,000	
4. 支部会支部大会収入				
余剰金	7	10,000	70,000	
(小計)			70,000	
5. 雑収入				
利息			500	
(小計)			500	
収入合計 (B)			5,730,500	
II. 支出の部				
1. 事業費				
全国大会運営費				
大会運営経費			1,677,891	第13回全国大会予算
大会企画委員会交通費			400,000	第13回全国大会予算
支部会・専門部会・研究活動運営費			900,000	
理事会交通費			400,000	
事務局活動費			50,000	
学会誌発行				
冊子版印刷・発送	0	680,000	0	ミドリ印刷見積額 最終原稿レイアウト含む
J-Stage対応	15	7,560	113,400	ミドリ印刷見積額 編集事務局とファイル作成とJ-Stageへのアップロード
謝礼など			20,000	
編集委員会交通費			100,000	
(小計)			3,661,291	
2. 事務局経費				
事務局委託費				
会員業務委託費			522,720	国際文献社見積額
会計業務委託費			375,840	国際文献社見積額
受付・庶務業務委託費			129,600	国際文献社見積額
学会誌等発送業務委託費			10,962	国際文献社見積額
学会ホームページ			166,320	国際文献社見積額
マイページ改修			54,000	国際文献社見積額 新部会設置のため2017年度のみ額
全国大会関係委託費				
事務委託基本料			108,000	第13回全国大会予算
大会ホームページ			64,800	第13回全国大会予算
システム改修			172,800	第13回全国大会予算 大会優秀賞のための改修:2017年度のみ額
サポート費			86,400	第13回全国大会予算
会誌関係委託費				
投稿システム年間利用料			279,552	杏林舎見積額
CiNiiからJ-Stageへの移行			146,880	ミドリ印刷見積額 バックナンバー移行のため2017年度のみ額
雑費			30,000	振込手数料等
(小計)			2,147,874	
3. 役員選挙経費				
選挙委託費			258,269	役員選挙実施年度のため2017年度のみ額
(小計)			258,269	
4. 学会ホームページCMS導入				
学会HPリニューアル			739,368	ホームページ更新のため2017年度のみ額
(小計)			739,368	
予備費				
(小計)			0	
支出合計 (C)			6,806,802	
収支 (B) - (C)			▲ 1,076,302	

役員候補者選出選挙 開票結果

有権者数：608 投票数：200 有効投票数：200 無効投票数：0

氏名	所属機関	結果
秋山 英治	愛媛大学	信任
今井 順一	千歳科学技術大学	信任
江原 由裕	九州龍谷短期大学	信任
大野 早苗	順天堂大学	信任
小野田 正之助	近畿大学	信任
加藤 竜哉	桜の聖母短期大学	信任
河住 有希子	日本工業大学	信任
鞍掛 哲治	鹿児島工業高等専門学校	信任
佐藤 尚子	千葉大学	信任
鈴木 政浩	西武文理大学	信任
高松 正毅	高崎経済大学	信任
田島 ますみ	中央学院大学	信任
谷川 裕稔	四国大学短期大学部	信任
塚越 久美子	北海道科学大学	信任
中園 篤典	広島修道大学	信任
中山 誠一	実践女子大学	信任
西 誠	金沢工業大学	信任
野崎 浩成	愛知教育大学	信任
馬場 眞知子	前 東京農工大学	信任
濱田 陽	秋田大学	信任
廣田 有里	江戸川大学	信任
藤田 大雪	京都光華女子大学	信任
矢島 彰	東大阪大学	信任
湯川 治敏	愛知大学	信任

推薦監事候補者名簿（五十音順）

氏名	所属機関	結果
國弘 保明	川崎医療福祉大学	信任
平瀬 洋子	広島国際学院大学	信任

以上の通り、相違ありません。

選挙管理委員 壁谷 一広 

選挙管理委員 望月 好恵 